2020年度(令和２年度)事業報告

法人の名称　特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ（MIC かながわ）

1. 組織運営

(1) 理事会

理事会を下記の日程で開催し、運営方針について検討した。

４月 20 日(月)、５月 18 日(月)、６月 26 日(金)、７月 22 日(水)、８月 25 日(火)、９月 23 日(水)、10 月 19 日(月)、11 月 16 日(月)、12 月 14 日(月)、2021 年１月 18 日(月)、２月 19 日(金)、３月 19 日(金)

（４～６月 メーリングリスト等で意見交換。７月以降 オンライン併用）

(2) 総会

MIC かながわ定期総会　６月６日(土)　15:00～16:00

かながわ県民センター15階共用研修室

参加者数：正会員 52 人のうち　直接参加 ９人、委任状 14 人、書面表決 22 人

（表決委任者及び書面表決者のうちオンライン付随参加７人）

(3) 会員

2021 年３月 31 日現在の会員数は以下のとおり。

正会員　46 人　　個人賛助会員　107 人　　団体賛助会員　４団体（45口）

2. 事業の成果

2020年度、神奈川県等との協働事業「医療通訳派遣システム」事業の対応言語は 13言語、協定医療機 関数は 70、派遣実績は 2,350件（前年度実績7,767件）であった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言等の影響で４月 13 日（月）から８月 31 日（月）の間、対面での通訳派遣は中止となった。その間、代替として電話および画像を使った遠隔通訳を行ったが、年間の派遣実績は前年度の 3割に留まった。

言語別では、英語725件（前年度比27.1%）、中国語715件（前年度比33.2%）、スペイン語512件（前年度比35.2%）の順に多かったが、前年度と比べるとほぼ３割程度であった。

MIC かながわ医療通訳派遣事業では、定例通訳を派遣している２医療機 関、県内で派遣の契約を交わした４医療機関、東京都内の１病院に対して、138件の派遣を行った。新型コロナウイルス感染症の影響から、緊急事態宣言発出期間は東京都への派遣は見合わせた。

神奈川県よりかながわ国際交流財団と共同で受託した多言語支援センターかながわ（事業番号⑥＜内容１＞）事業である一般通訳の派遣は、新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも全体で 331件あり、前年度比約８％の減に留まった。

新型コロナウイルス感染症の影響は、通訳の派遣依頼の面だけではなく、MIC かながわの収益事業にも多大な影響を与えた。特に、医療通訳公開講座の開講については、コロナ禍での環境の整備や会場の確保等が課題となった。

3. 事業内容

(1) 特定非営利活動に関わる事業

① 医療通訳の養成・認定に関わる事業

［日時］2020 年４月１日～2021 年３月 31 日　　［場所］神奈川県内　　［従業員人員］ 30 人
［対象者］ 現任医療通訳スタッフ・コーディネーターおよび新任医療通訳研修参加者
【①事業合計支出額】2,203,541 円

＜内容１＞　現任者について

ア.　医療通訳スタッフの登録

2019年度から引き続いて 200 人（うち３人は複数言語重複登録者）が登録を継続し、2020年度新規登録者15 人と合わせ計215 人となった。2020年度は、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、ベトナム語で医療通訳スタッフを募集した。

2021 年３月 31 日現在登録数：

中国語　43 人、スペイン語　44 人、ポルトガル語　24 人、韓国・朝鮮語　６人、
タガログ語　９人、タイ語　12 人、英語　41 人、ベトナム語　20 人、
カンボジア語　２人、ラオス語　１人、ロシア語　５人、フランス語　４人
ネパール語　４人　　計215 人

イ.　医療通訳スタッフ・コーディネーター現任者研修

現任医療通訳スタッフとコーディネーターの資質向上のため、専門的内容の講義等の研修を行った。第１回研修は 7月に開催予定であったが、新型コロナウイルス緊急事態宣言発出の影響で開催を中止し、11月に延期した。年３回開催が２回開催となった。

【第１回】11 月 21 日（土）　13：25～16：00
神奈川県立地球市民かながわプラザ５階映像ホール　オンライン併用

1. テーマ：消化器系のしくみと病気
   講師：日本医科大学武蔵小杉病院　消化器外科医師　横山康行氏
2. 事務局からのお知らせ

［参加者数］　119 人

【第２回】①３月６日（土）　14：30～16：40
かながわ県民センター15階共用研修室　オンライン併用
②３月 12 日（金）19：00～20：50　　オンライン

1. テーマ：　新型コロナウイルス最近の話題　～後遺症・ワクチンを中心に～

講師　：港町診療所所長　医師　沢田貴志氏

2. 事務局からのお知らせ

〔参加者数〕① 90 人(うち、会場直接参加 9 人)
② 63 人

【その他の研修】

・７月４日（土）13：00～15：00　オンラインイベント

テーマ：①MIC かながわの現状
②電話通訳体験者の座談会
③新型コロナと医療通訳　講師：港町診療所所長　医師　沢田貴志氏

〔参加者数〕　94 人

・ ①８月 31 日（月）、②９月３日（木）新型コロナウイルス感染防止重点研修
オンライン

テーマ：派遣再開に向けての注意点　講師：港町診療所所長　医師　沢田貴志氏

〔参加者数〕　① 32 人、② 20 人

ウ.　勉強会

言語別グループによる自主勉強会を開催し、医療用語や表現の確認、医療知識の習得、事例検討等を通して医療通訳技術の向上を図った。講師を招いて必要な知識を深める等、言語グループ毎に工夫し、勉強会を開催した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、多くの勉強会がオンラインで開催された。

中国語２回、スペイン語２回、ポルトガル語８回、タイ語２回、英語５回、
フランス語１回

エ.　コーディネーター研修

医療通訳派遣におけるよりよいコーディネートに資するため、コーディネーター研修を２回行った。新型コロナウイルス感染拡大予防のためオンラインで実施した。

【第１回】６月 28 日(日)　13：00～15：20　オンライン

テーマ：よりよい遠隔通訳を行うために

〔参加者数〕　コーディネーター 14 人、MIC かながわ事務局 1 人

【第２回】１月 22 日(金)　17：30～19：00　オンライン

テーマ：よりよい通訳派遣のために
～医療通訳派遣担当者によるパネルディスカッション～
１．通訳担当部署の紹介
２．新型コロナウイルス感染症の影響で MIC かながわの通訳が派遣中止になっていた間の実情

３．MIC かながわの通訳派遣再開後から現在に至るまでの現況や以前と変化した点

４．今後に向けて、改善を必要とする点や期待すること、要望など

パネリスト：川崎市立川崎病院　医療福祉相談室　手塚順子氏
東海大学医学部付属病院　総合相談室　西川静枝氏
横浜市立みなと赤十字病院　国際医療部　谷文恵氏

〔参加者数〕　医療機関関係者29 人（24機関）、コーディネーター14 人、国際課１人、MIC かながわ理事１人、事務局１人

＜内容２＞　新任者について

ア．　医療通訳スタッフ

（ア）医療通訳スタッフの募集および事前選考

2020年度は、『県のたより７月号』にて、5言語(スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、カンボジア語)を募集した。カンボジア語の応募はなく、応募総数は 42人であった。

全言語について書類選考を行い、スペイン語については、さらに８月 21 日(金)に面接による事前選考をオンラインで行った。

（イ）医療通訳スタッフ新任者養成研修

【第１回】9 月 17 日(木)　神奈川県立国際言語文化アカデミア 103研修室

ⅰ　医療通訳派遣システム概要
説明：神奈川県国際文化観光局国際課　佐藤敬子氏

ⅱ　MICかながわについて
説明：MIC かながわ理事長　松野勝民氏

ⅲ　医療通訳の心得
講師：MIC かながわ理事・港町診療所所長・医師　沢田貴志氏

ⅳ　医療の基礎知識
講師：MIC かながわ理事・港町診療所所長・医師　沢田貴志氏

ⅴ　病院における個人情報保護
講師：神奈川県立がんセンター　ソーシャルワーカー・臨床心理士　緒方文子氏

ⅵ　神奈川県に暮らす外国人と役に立つ社会資源
講師：(公財) かながわ国際交流財団　藤分治紀氏

【第２回】9 月 25 日(金)　神奈川県立国際言語文化アカデミア 102研修室

ⅰ　通訳技術の基礎
講師：MIC かながわスペイン語医療通訳スタッフ　福西雅子氏

ⅱ　医療通訳の現場から（現任医療通訳スタッフ体験談）
報告：スペイン語医療通訳スタッフ　　佐藤やよい氏
ポルトガル語医療通訳スタッフ　　平井活則氏
ⅲ　多文化共生について
講師：マイノリティー宣教センター運営委員・在日大韓基督教会 牧師
金迅野氏
ⅳ　医療機関のしくみ・医療制度
講師：済生会神奈川県病院　ソーシャルワーカー　渥美昇平氏
ⅴ　小テスト（筆記）

【第３回】10 月 3 日（土）　神奈川県立国際言語文化アカデミア
第３回・第４回は、各言語の医療通訳スタッフ、コーディネーター、理事の中から人選した講師・患者役・医師役・スーパーバイザーを配して、言語別ロールプレイを行った。

敬称略

言語	講師	母語話者役（患者役）	日本人役（医師役）
スペイン語	杉下由紀子	赤嶺和枝	岸田陽子
ポルトガル語	鈴木クリスチーナ美幸	山下ジューリア真由美	安藤久美子
韓国・朝鮮語	斉田麻衣子	孔敏淑	鈴木久美子
ベトナム語	鈴木万里子	小林ひとみ	上田麻衣子

この他に各言語には MIC かながわの理事がスーパーバイザーとして同席した。

【第４回】10 月 10 日(土)　神奈川県立国際言語文化アカデミア
言語別ロールプレイに引き続き、面接、選考を行った。

（ウ）医療通訳スタッフの登録
養成研修に参加した 42 人のうち、スペイン語５人、ポルトガル語５人、韓国・朝鮮語２人、ベトナム語４人、計16 人が選考を通過したが、１人辞退したため、15 人が医療通訳スタッフとして登録された。

【オリエンテーション】
10 月 28 日（水）10：00～12：00　かながわ県民センター305会議室
新規登録者15 人を対象にオリエンテーションを行った。
ⅰ　システムの概要　　ⅱ　派遣の手続き　　ⅲ　災害時の通訳派遣について
ⅳ　協定医療機関の概要　　ⅴ　コーディネーター業務の紹介
ⅵ　コーディネーターとの意見交換　　ⅶ　その他

イ．　コーディネーター
2020年度新規登録コーディネーターの募集は行わなかった。

②医療通訳の派遣に関わる事業

[日時]2020年4月1日～2021年3月31日　【②事業合計支出額】20,210,147円

＜内容１＞　医療通訳派遣システム事業

[場所] 神奈川県内　[従業員人員] 190人　[対象者]医療通訳を必要とする70協定医療機関および受診する患者とその家族等

ア.　医療通訳スタッフの派遣

70の協定医療機関からの依頼にもとづき、2,350件の医療通訳を派遣した。

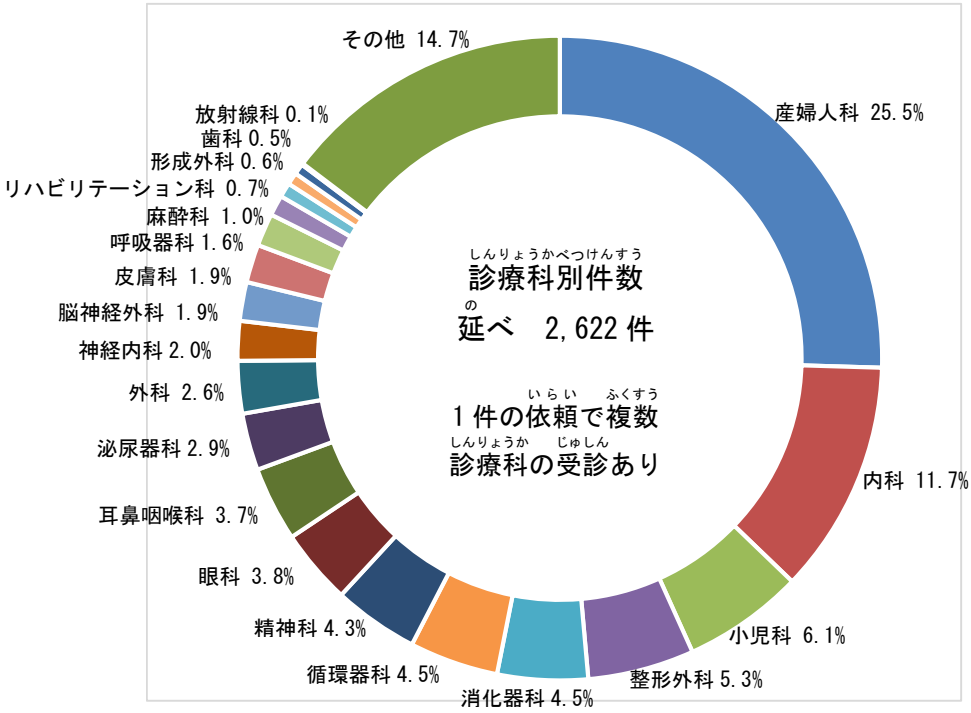
【病院・言語別実績】

言語／医療機関名	所在地	中国語	スペイン語	ポルトガル語	韓国・朝鮮語	タガログ語	タイ語	英語	ベトナム語	カンボジア語	ラオス語	ロシア語	フランス語	ネパール語	合計
済生会横浜市東部病院	横浜市鶴見区	8	7	5	0	2	0	11	0	0	0	0	0	0	33
済生会神奈川県病院	横浜市神奈川区	1	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6
済生会東神奈川リハビリテーション病院	横浜市神奈川区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
港町診療所	横浜市神奈川区	2	1	6	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	13
横浜中央病院	横浜市中区	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
みなと赤十字病院	横浜市中区	53	1	0	0	0	2	38	0	0	0	0	0	0	94
ふれあい横浜ホスピタル	横浜市中区	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
市大センター病院	横浜市南区	24	13	2	2	9	2	82	1	0	0	1	0	1	137
県立こども医療センター	横浜市南区	114	29	7	0	29	2	78	13	0	0	0	0	1	273
横浜労災病院	横浜市港北区	20	2	0	0	3	0	29	11	0	0	0	0	0	65
横浜市総合リハビリテーションセンター	横浜市港北区	16	5	0	0	1	0	5	4	0	0	0	0	0	31
昭和大藤が丘病院・リハビリテーション病院	横浜市青葉区	1	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	11
昭和大横浜市北部病院	横浜市都筑区	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
江田記念病院	横浜市青葉区	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
横浜市立市民病院	横浜市保土ヶ谷区	43	7	1	0	11	0	130	5	0	0	0	2	0	199
聖マリアンナ横浜市西部病院	横浜市旭区	6	2	2	0	0	0	5	2	0	0	0	0	1	18
県立がんセンター	横浜市旭区	35	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	38
国際親善総合病院	横浜市泉区	67	0	1	0	0	8	2	1	0	0	0	0	0	79
横浜医療センター	横浜市戸塚区	23	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	25

言語 医療機関名	所在地	中国語	スペイン語	ポルトガル語	韓国・朝鮮語	タガログ語	タイ語	英語	ベトナム語	カンボジア語	ラオス語	ロシア語	フランス語	ネパール語	合計
横浜栄共済病院	横浜市 栄区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
済生会横浜市南部病院	横浜市 港南区	10	7	1	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	25
県立精神医療センター	横浜市 南区	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	2	8
汐見台病院	横浜市 磯子区	0	18	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	24
横浜市立脳卒中・ 神経脊椎センター	横浜市 磯子区	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
横浜市大附属病院	横浜市 金沢区	35	51	19	0	0	1	9	0	0	3	0	0	0	118
県立循環器呼吸器病 センター	横浜市 金沢区	12	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	13
太田総合病院	川崎市 川崎区	6	6	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	16
川崎市立川崎病院	川崎市 川崎区	62	27	2	3	0	9	94	0	0	0	0	0	0	197
川崎協同病院	川崎市 川崎区	6	4	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	18
宮川病院	川崎市 川崎区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本鋼管病院	川崎市 川崎区	2	9	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
川崎 幸 病院	川崎市 幸区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関東労災病院	川崎市 中原区	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
川崎市立井田病院	川崎市 中原区	7	3	0	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	17
日本医科大学武蔵小杉病 院	川崎市 中原区	0	10	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	12
聖マリアンナ東横病院	川崎市 中原区	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4
聖マリアンナ医科大学病院	川崎市 宮前区	17	9	1	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0	71
川崎市立多摩病院	川崎市 多摩区	13	0	0	0	0	1	17	1	0	0	0	1	0	33
川崎市南部地域療 育センター	川崎市 川崎区	1	0	6	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	11
北里大学病院	相模原市 南区	17	51	3	0	1	1	41	4	1	0	0	0	0	119
相模原協同病院	相模原市 緑区	0	21	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	27
大和徳洲会病院	大和市	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
海老名総合病院	海老名市	4	12	5	0	4	7	40	4	0	0	0	0	0	76
座間総合病院	座間市	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	6
厚木市立病院	厚木市	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
神奈川リハビリテーション病院	厚木市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東名厚木病 院	厚木市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
とうめい厚木クリニック	厚木市	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
湘南厚木病院	厚木市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海大学病院	伊勢原市	30	101	33	0	9	0	16	4	0	0	0	0	1	194
伊勢原協同病院	伊勢原市	0	13	9	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	29
秦野赤十字病院	秦野市	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

言語 医療機関名	所在地	中国語	スペイン語	ポルトガル語	韓国・朝鮮語	タガログ語	タイ語	英語	ベトナム語	カンボジア語	ラオス語	ロシア語	フランス語	ネパール語	合計
県立足柄上病院	足柄上郡 松田町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
衣笠病院	横須賀市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横須賀市立うわまち病院	横須賀市	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5
横須賀市立市民病院	横須賀市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横須賀市療育相談センター	横須賀市	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
横須賀共済病院	横須賀市	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
葉山ハートセンター	三浦郡 葉山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湘南鎌倉総合病院	鎌倉市	1	19	0	1	6	1	2	0	0	0	0	6	0	36
湘南藤沢徳洲会病院	藤沢市	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
藤沢湘南台病院	藤沢市	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
県立総合療育相談センター	藤沢市	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
藤沢市民病院	藤沢市	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
茅ヶ崎市立病院	茅ヶ崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平塚市民病院	平塚市	35	40	20	0	2	11	18	13	2	0	0	0	0	141
済生会湘南平塚病院	平塚市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海大学医学部付属大磯病院	中郡 大磯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小田原市立病院	小田原市	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
曽我病院	小田原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		**715**	**512**	**159**	**8**	**93**	**49**	**725**	**64**	**4**	**3**	**3**	**9**	**6**	**2350**

【診療科別実績】



イ．　コーディネート業務

（ア）かながわ県民センター13 階のコーディネーターブースにて、14 人のコーディネーターが当番制で原則月～金曜日、9～12 時／13 時～16 時、1 日 2～2.5 名のコーディネーターが業務に就いた。

4 月 13 日（月）より、新型コロナウイルスの緊急事態宣言発出を受け、医療通訳活動を対面から遠隔（電話・画像）通訳に切り替えた。

5 月 11 日（月）から 8 月 31 日（月）まで、神奈川県国際課手配による県立国際言語文化アカデミア討議室での遠隔通訳開始に伴い、医療通訳スタッフをサポートするため、討議室にコーディネーターを配置した。配置人数は、当該日の依頼件数、依頼時間帯により、コーディネーター登録者の中から調整した。

電話通訳実績：234件（９言語 31医療機関）

（イ）コーディネーター会議

14 人のコーディネーターで月 1 回（全 12 回）定例会議を持ち、情報共有、課題検討を行い、調整技術の向上を図った。また、現任医療通訳・コーディネーター研修への協力を行った。

・開催年月日：4 月 24 日(金)、5 月 25 日(月)、6 月 29 日(月)、7 月 31 日(金)、
8 月 28 日(金)、9 月 28 日(月)、10 月 28 日(水)、11 月 30 日(月)、
12 月 21 日(月)、2021 年 1 月 29 日(金)、2 月 26 日(金)、3 月 26 日(金)

・開催場所：　MIC かながわ事務局、オンライン併用

ウ．　運営委員会の設置・参加

（ア）運営委員会

(1)第 1 回　　書面会議

【議題】

１．協議事項

(1)令和元年度 医療通訳派遣システム事業実績報告書（案）について

(2)令和元年度 医療通訳派遣システム事業収支報告書（案）について

(3)令和３年度 医療通訳派遣システム事業負担額（案）について

(2)第 2 回　　書面会議

【議題】

１．報告事項

(1)令和２年度 医療通訳派遣システム事業実績報告について

(2)令和３年度 医療通訳派遣システム事業の協定医療機関負担額（間接経費）について

２．協議事項

(1) 令和３年度 医療通訳派遣システム事業計画(案)及び収支予算(案) について

(2) 協働事業者の選定について(案)

（イ）運営委員会部会

(1)第１回　　書面会議

【議題】

１．協議事項

(1)令和元年度 医療通訳派遣システム事業実績報告書（案）について

(2)令和元年度 医療通訳派遣システム事業収支報告書（案）について

(3)令和３年度 医療通訳派遣システム事業負担額（案）について

２．調査事項

電話通訳についてのアンケート

(2)第２回　　書面会議

【議題】

１．報告事項

(1)令和２年度 医療通訳派遣システム事業実績報告について

(2)令和３年度 医療通訳派遣システム事業の協定医療機関負担額（間接経費）について

２．協議事項

(1) 令和３年度 医療通訳派遣システム事業計画(案)及び収支予算(案) について

(2) 協働事業者の選定について(案)

９月１日(火)からの医療通訳派遣再開にあたり、県国際課より医療用サージカルマスク、フェイスガード、手指消毒用スプレー、消毒用不織布ガーゼの提供があった。

＜内容２＞　MIC かながわ医療通訳派遣事業

［場所］神奈川県および東京都内　［従業員人員］15 人　［対象者］かながわ医療通訳派遣システム事業＜内容１＞で対応しない 14協定医療機関および受診する患者とその家族等

ア．　医療通訳スタッフの派遣

以下の 14 医療機関と覚書を取り交わし、医療通訳スタッフの派遣を行った。

スペイン語定例通訳の派遣……２医療機関（港町診療所、平塚市民病院）

神奈川県外の医療機関……５病院

【病院・言語別実績】

言語 ＼ 医療機関名	所在地	中国語	スペイン語	英語	ロシア語	合計
港町診療所	横浜市神奈川区	0	46	0	0	**46**
平塚市民病院	平塚市	0	69	0	0	**69**
東邦大学医療センター大森病院	東京都大田区	0	0	0	0	**0**
東京女子医科大学病院	東京都新宿区	0	0	0	0	**0**
東京都立松沢病院	東京都世田谷区	5		2	1	**8**
聖路加国際病院	東京都中央区	0	0	0	0	**0**
東京医科歯科大学医学部附属病院	東京都文京区	0	0	0	0	**0**
横浜医療福祉センター港南	横浜市港南区	1	5	0	0	**6**
川崎市中央療育センター	川崎市中原区	0	0	0	0	**0**
横浜新緑総合病院	横浜市緑区	0	0	0	0	**0**
横浜市中部療育センター	横浜市南区	3	0	0	0	**3**
久里浜医療センター	横須賀市	3	0	0	0	**3**
横浜市西部地域療育センター	横浜市保土ケ谷区	0	3	0	0	**3**
よこはま港南地域療育センター	横浜市港南区	0	0	0	0	**0**
合　計		**12**	**123**	**2**	**1**	**138**

＜内容３＞　感染症通訳派遣

［場所］神奈川県内　［従業員人員］25 人　［対象者］保健所の感染症担当保健師およびその担当する患者等

神奈川県健康医療局保健医療部健康危機管理課他と感染症（結核、エイズ等）に関わる通訳派遣の委託契約を結んだが、2020年度の派遣依頼はなかった。

なお、県委託事業対応範囲外からの依頼についても、県委託事業に準じる内容で契約し、医療

通訳スタッフを派遣した。

派遣実績：横浜市　中国語　１件

＜内容４＞　外国籍被保護者等医療通訳派遣

［場所］横浜市内　［従業員人員］５人　［対象者］横浜市各区役所の福祉保健センター職員および医療を必要としている被保護者

生活保護受給者が医療機関にかかる際、生活保護担当の職員が同行する場合に通訳を派遣する委託契約を横浜市健康福祉局生活支援課と結び、派遣を行った。

派遣実績：スペイン語１件

＜内容５＞　精神保健福祉医療通訳派遣

［場所］神奈川県内　［従業員人員］５人　［対象者］精神保健福祉センター職員、関係医療機関の医療従事者および医療を必要としている人

措置入院の必要性を判断する際、または措置入院中の患者対応のため、精神保健福祉センター等からの依頼に対し、医療通訳スタッフを派遣した。

派遣実績：川崎市精神保健福祉センター　中国語　１件

＜内容６＞　その他

［場所］神奈川県内　［従業員人員］５人　［対象者］日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公的・民間機関

ア．相模原市こども家庭課「産前産後サポート事業」

相模原市子育て支援センターの保健師が妊婦訪問や保健所での窓口対応をするため、2021 年１月 14 日（木）～３月 30 日（火）MIC かながわ会員の中から英語医療通訳スタッフを派遣した。

派遣実績：　18件

イ．地球環境戦略研究機関保健指導

公益財団法人地球環境戦略研究機関に所属する外国人従業員に対し、健康保険組合による保健指導のため英語医療通訳スタッフを派遣した

派遣実績：11 月 16 日（月）　１件

③ 災害時・緊急時および一般通訳等に関する活動

［日時］2020 年４月１日～2021 年３月 31 日　［場所］神奈川県および東京都　［従業員人員］100 人　［対象者］　日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公共機関
【③事業合計支出額】1,206,471 円

＜内容１＞　MIC一般通訳派遣事業

通訳を必要とされる場所が県の一般通訳派遣制度の中では派遣できないところである場合に、MIC かながわ会員の中から通訳を派遣した。

派遣実績：ポルトガル語　２件　（私立高校）

＜内容２＞ 生活保護専門通訳派遣事業

ア．　派遣について

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部生活援護課からの委託にもとづき、生活保護制度に関する受給者への説明、面談等に対して、MIC かながわ会員の中から、生活保護に関する研修を修了している通訳スタッフを派遣した。

派遣実績：スペイン語　３件、ベトナム語　２件　計　５件

イ．　研修について

神奈川県の職員を講師として招き、生活保護の基礎知識に関する研修を行った。

12 月９　日（水）　13：30～15：45　かながわ県民センター　304会議室　オンライン併用

【第１部】講義「通訳に求められる生活保護制度の基礎知識」
講師：神奈川県福祉子どもみらい局福祉部生活援護課生活保護グループ
副主幹　磯崎貴史氏

【第２部】生活保護の通訳をする際に注意すべきこと
講師：MIC かながわ中国語通訳　三木紅虹氏

［参加者数］　42 人（うち、直接参加４人）

＜内容３＞ その他、講師派遣・研修・会議参加等

ア．神奈川県消防学校外国語講座　講師派遣

神奈川県医師会からの依頼により神奈川県消防学校で行われる救急隊員教育訓練の外国語講座に講師を派遣した。

【第１回】新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【第２回】２月 26 日(金)　13：25～17：15
派遣者：星雪梅氏(中国語)、アニー・ヒューバート氏（英語)、
アンヘル・バルガス氏（スペイン語)

＜内容４＞　藤沢市社会福祉協議会「生活福祉資金貸付」

新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金貸付業務相談・申請窓口での通訳のため、７月 14 日（火）～３月 31 日(火）MIC かながわ会員の中から、英語通訳を派遣した。
派遣実績：　49 件

④ 日本語を母語としない住民のための健康相談による地域の健康促進活動

[日時]2020 年４月１日～2021 年３月 31 日　　[場所]神奈川県内　　[従業員人員]　２人
[対象者]　日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公的・民間機関
【④事業合計支出額】298,117 円

＜内容１＞外国人無料健康相談会

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

⑤ 日本語を母語としない方や外国籍住民がスムーズに医療につながることができるための医療制度の研究・提言および人権に関する啓発事業

［日時］2020年4月1日～2021年3月31日　［場所］日本全国　［従業員人員］ 30人
［対象者］ 現任医療通訳派遣制度および医療通訳に関心のある全国の行政職員・医療関係者、通訳ボランティア等　【⑤事業合計支出額】3,588,028円

＜内容１＞　医療通訳啓発事業

ア．公開講座

医療通訳のノウハウを広く一般の方に知ってもらうために公開講座を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で英語医療通訳講座の開催を中止した。中国語についてはすでに開講を予定していた講座は開催した。

（ア）英語医療通訳講座　　新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

（イ）中国語医療通訳講座

講師：佐藤ペティー氏

		講義回数	開催時期	受講者数
中級講座	木・夜	全8回	6月4日(木)～7月30日(木)	6人
上級講座	木・夜	全8回	8月6日(木)～10月1日(木)	6人

イ．　講師派遣等

（ア）講師派遣

9月13日(日)　群馬県外国人活躍推進課「医療通訳ボランティアスキルアップ講座」オンライン
講師派遣：松尾圭子英語通訳

9月27日(日)　群馬県外国人活躍推進課「医療通訳ボランティア養成講座」
講師派遣：鈴木万里子英語通訳

10月4日(日)　群馬県外国人活躍推進課「医療通訳ボランティア養成講座」
講師派遣：鈴木万里子英語通訳

10月11日(日)　群馬県外国人活躍推進課「医療通訳ボランティア養成講座」
講師派遣：鈴木万里子英語通訳

1月23日(土)　千葉市国際交流協会「コミュニティ通訳養成講座（医療）」オンライン
講師派遣：鈴木万里子英語通訳

1月23日(土)　佐賀県国際交流協会「医療通訳サポータースキルアップ講座」　オンライン
講師派遣：田中圭英語通訳、松尾圭子英語通訳、斉田麻衣子韓国・朝鮮語通訳

1月30日(土)　佐賀県国際交流協会「医療通訳サポータースキルアップ講座　オンライン

講師派遣：田中圭英語通訳、松尾圭子英語通訳

3月11日(木)　東京都福祉保健局生活福祉部「自立支援通訳員等に対する医療通訳研修会」
オンライン　講師派遣：沢田貴志理事

3月13日(土)　山梨県国際交流協会・やまなし医療通訳研究会
「医療通訳セミナー」オンライン　講師派遣：三木紅虹中国語通訳
協力者派遣：向島知子英語通訳、ホー・ティ・バン ベトナム語通訳

（イ）その他、役員が下記の内容でMICかながわの活動および医療通訳に関して講義を行った。

8月6日(木)　国際交流基金「コロナ時代の地域の国際文化交流～国際交流基金地球市民賞プレイベント～（多文化共生）」講師派遣：岩本弥生理事

9月19日(土)　福岡アジア医療サポートセンター「医療通訳ボランティア講座　～対人援助の基礎技術～」　講師派遣：井出みはる理事

11月21日(土)　神奈川県社会福祉士会多文化ソーシャルワーク研修「外国人への医療・通訳サービスの課題－MICかながわの実践から」
講師：井出みはる理事　協力者：草間久美理事、佐藤ペティー理事

12月12日(土)　多文化ソーシャルワーク実践講座第3回「コミュニケーションを支援する―正しい情報と安心を伝える通訳活用、多言語対応とは」
ファシリテーター：井出みはる理事、鶴田光子顧問

1月9日(土)　日本公共通訳支援協会遠隔通訳フォーラム　パネルディスカッション
コメンテーター：岩本弥生理事

3月29日(月)　九州大学シンポジウム分科会「外国人診療の課題と遠隔医療」オンライン
講師派遣：岩元陽子副理事長

＜内容２＞　厚生労働省科学研究費補助事業

厚生労働省科学研究費補助金による「HIV検査と医療サービスへのアクセス向上に資する多言語対応モデルの構築に関する研究班」の協力により、在住外国人支援スタッフ・ボランティア通訳のための感染症(結核・HIV)通訳養成講座を行った。新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで行った。

ア．感染症(結核・HIV)通訳養成講座

＜第１部＞　感染症通訳のための基礎講座

第１回　日時：１月16日(土)　13：00～16：40
内容：1.結核の基礎知識 結核予防会総合健診推進センター医師　高柳喜代子氏
2.エイズの基礎知識 大阪市立総合医療センター感染症内科医師　白野倫徳氏
［参加者数］　94人（11言語）

第２回　日時：１月30日(土)　13：00～16：00

内容：1. 新型コロナウイルス感染症と外国人　港町診療所所長・医師　沢田貴志氏
2. セクシュアリティーについて　文化人類学者　砂川秀樹氏
［参加者数］ 95 人（11言語）

第３回　日時：２月６日(土)　13：00～16：40
内容：1. 遠隔通訳について　港町診療所所長・医師　沢田貴志氏
2. 通訳技術の基本　杏林大学外国語学部教授　宮首弘子氏
3. グループ学習（指導：杏林大学外国語学部教授　宮首弘子氏）
［参加者数］ 91 人（11言語）

＜第２部＞　感染症通訳のための実技演習
日時：２月 20 日(土)　10：30～17：00
内容：1. 医療通訳の役割　港町診療所所長・医師　沢田貴志氏
実技演習についての説明　杏林大学外国語学部教授　宮首弘子氏
2. 通訳技術演習 12：30～14：30　ネパール語・ベトナム語
3. 通訳技術演習 15：00～17：00　中国語
［参加者数］ 28 人（３言語）

⑥ 日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談活動

［日時］2020 年４月１日～2021 年３月 31 日　［場所］神奈川県内　［従業員人員］６人
［対象者］ 外国籍県民、保健所職員、市・区役所職員、医療機関職員等
【⑥事業合計支出額】6,707,315 円

＜内容１＞ 多言語支援センターかながわ

神奈川県は、県内に暮らす外国籍の人や県に立ち寄った外国の方に向け、英語、中国語、タガログ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、ネパール語、タイ語、韓国・朝鮮語、インドネシア語、やさしい日本語で情報提供や通訳支援を行うことを目的に、多言語支援センターかながわを設置している。

MIC かながわは、かながわ国際交流財団（KIF）と共同で県から委託を受け、研修および通訳派遣（タガログ語・ベトナム語）、医療以外の一般通訳派遣を担当した。

ア．実績　（多言語支援センターかながわ全体）

医療、保健福祉子育て、支援、日常生活に必要な情報や生活習慣等に関する情報提供および通訳支援を次の通り行った。

来訪　497件　電話　8,016件　電話通訳　2,098件　文書　2,574件　　合計　13,185件

イ．外国籍県民支援人材育成研修

第１回　日時：12 月８日(火)　19：00～20：30　オンライン

対象：外国人支援団体、外国人コミュニティのリーダー、外国人相談窓口スタッフなど

内容：新型コロナウイルス感染症防止対策（クリスマス、正月等での集まりの際に注意することを中心に）

講師：MIC かながわ理事・港町診療所所長・医師　沢田貴志氏

［参加者数］　43 人

第２回　日時：３月 23 日(火)　16：30～18：00　オンライン

対象：小 中高校教員、学習支援ボランティア等

内容：子どもの在留資格～出生から高校卒業後まで～」

講師　行政書士　岩崎裕子氏

［参加者数］　54 人

ウ．　希少言語スタッフ育成事業

（ア）コミュニティー通訳養成研修

第１回　日時：３月６日(土)　10：00～12：30

会場：川崎市ふれあい館

内容：１．通訳技術基礎

講師：MIC かながわ通訳コーディネーター（以下Co.）・英語通訳　田中圭氏

２．ハローワークについて

講師：MIC かながわ Co.・ポルトガル語通訳、ハローワーク通訳

鈴木クリスチーナ美幸氏

［参加者数］　７人（ベトナム語）

第２回　日時：３月 20 日(土)　10：30～12：30

会場：川崎市ふれあい館

内容：１．言語別ロールプレイ

講師：MIC かながわ Co.・英語通訳　田中圭氏

協力者：エリオソ・シェリルメイ氏(タガログ語)、

ファム・ミーリン氏（ベトナム語)、寺戸ホア氏（ベトナム語)

［参加者数］　10 人（タガログ語、ベトナム語)

エ．　一般通訳派遣事業

（ア）通訳協力者の登録および派遣コーディネート

「かながわ一般通訳協力者支援事業」による通訳協力者の登録および派遣コーディネートを行った。

登録言語数　　26言語

登録通訳者数　実人数　235 人（複数言語登録者がいるため延べ 284 人）2021．3.31 現在

派遣実績　　331件（11言語）（2019年度 362件）

言語別　　スペイン語 66件、中国語 60件、タガログ語 51件、ベトナム語41件、ポルトガル語 37件、英語 34件、タイ語 18件、その他 24 件

派遣先　　県立高校 194件、県立特別支援学校 62件、児童相談所 38件、市役所・区役所 16件、その他 21件

（イ）一般通訳協力者研修

【基礎研修】

内容：１．コミュニティ通訳の基礎

２．体験談

３．一般通訳制度・個人情報保護・守秘義務の説明

①日時：7 月 29 日(水)　10：15～11：45　オンライン

講師：MIC かながわ Co.・ポルトガル語通訳　岩本弥生氏

［参加者数］　15 人

②日時：　12 月 5 日(木) 13：30～15：00　オンライン

講師：　MIC かながわ Co.・英語通訳　田中圭氏

［参加者数］　８人

【専門研修】日時：　３月 18 日(木) 15：00～16：30　オンライン

内容：特別支援学校で通訳を行うための基礎知識

講師：神奈川県教育委員会特別支援教育課事業調整グループ

主幹兼指導主事　茂内俊郎氏

［参加者数］　55 人

（ウ）一般通訳協力者言語別ロールプレイ研修

主として新規登録者に対し、ロールプレイをオンラインにて行った。

（敬称略）

	言語	日程	講師・外国人役	参加者
1	カンボジア語	10 月 24 日（土）	成田美貴	２名
2	インドネシア語	10 月 26 日（月）	山口リディア	２名
3	ポルトガル語	12 月 5 日（土）	鈴木クリスチーナ美幸	３名
4	スペイン語	12 月 11 日（金）	アンヘル・バルガス	５名
5	ベトナム語	２月７日（日）	小林ひとみ	２名
6	ロシア語	２月８日（月）	タマラ・ユハネウィチ	２名
7	ネパール語	２月 16 日（火）	エソダ・バスネット	２名
8	フランス語	２月 24 日（水）	畠山コリン	２名
9	韓国・朝鮮語	３月 26 日（金）	孔敏淑	２名

オ．医療通訳派遣事業との連携

ベトナム語とタガログ語について、多言語支援センターからの通訳派遣は 98 件であった。

ベトナム語　医療通訳 29 件　一般通訳３件　　計 32 件

タガログ語　医療通訳 45 件　一般通訳 21 件　　計 66 件

＜内容２＞ 相談について

医療通訳派遣などから派生する日本語を母語としない住民の生活に密着したさまざまな相談（電話・メール）に対応した。

⑦ 日本語を母語としない住民の定住化に伴う課題への対応についての行政や地域で活動する団体への連絡、助言または援助の活動

［日時］2020 年４月１日～2021 年３月 31 日　［場所］神奈川県内　［従業員人員］25 人
［対象者］　法人の事業活動に理解のある団体および個人　【⑦事業合計支出額】3,216 円

ア．　調査・会議・イベントへの協力

（ア）神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会議

12 月 11 日(金)、オンラインにて開催された。鈴木久美子MIC かながわ Co.・タイ語通訳と青木トンガラグ事務局スタッフが関係機関との情報交換に参加した。

イ. 講師派遣

10 月 7 日(水)
～12 月 16 日(水)

横浜リハビリテーション専門学校

講義名:外国語リテラシー、医療通訳概要、外国語文化的背景、社会的習慣
挨拶等基礎表現練習（中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、インドネシア語）
上記講義に講師を紹介した。

1 月 23 日(土)

千葉市国際交流協会　コミュニティ通訳養成講座(行政)　オンライン
講師派遣：鈴木万里子英語通訳

ウ. 取材

10 月 23 日(金)

日本経済新聞大阪本社社会部取材「医療通訳の現状、県内の活動状況」
対応：飯島佐智子事務局長、内藤まゆみ事務局スタッフ

11 月 16 日(月)

共同通信社名古屋支局電話取材　「医療通訳派遣の新型コロナの影響について」　対応：飯島佐智子事務局長

3 月 22 日(月)

パルシステム生協会報誌のんびる取材　対応：岡村容子スペイン語通訳、内藤まゆみ事務局スタッフ

エ. 調査協力等

10 月 5 日(月)

東京外国語大学学生「訪日・在日外国人に向けて、日本の医療制度についての簡単な説明動画作成」　対応：内藤まゆみ事務局スタッフ

10 月 19 日(月)

北里大学看護学部看護システム学統合看護実習受入れ
対応：松野勝民理事長、矢島行子Co.・英語通訳、倉橋ジェラルデン タガログ語通訳、ホー・ティ・バン ベトナム語通訳、飯島佐智子事務局長

10 月 21 日(水)

北里大学看護学部看護システム学統合看護実習受入れ
対応：矢島行子Co.・英語通訳、アンヘル・バルガス事務局スタッフ、青木トンガラグ事務局スタッフ、飯島佐智子事務局長

12 月 7 日(月)

神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部学生調査受入れ「MIC かながわの活動、医療通訳から見た外国人医療現場」　対応：早川寛副理事長、矢島行子Co.・英語通訳

1 月 12 日（火）

特定非営利活動法人市民社会創造ファンド「多文化共生分野の助成に関する調査」　対応：岩元陽子副理事長・Co.・英語通訳、飯島佐智子事務局長

オ. 委員等の活動

・(公財)かながわ国際交流財団評議員（松野勝民理事長）
・神奈川県外国人医療推進検討会議委員（松野勝民理事長）

⑧ 日本語を母語としない住民の生活支援につながる翻訳事業

［日時］2020年４月１日～2021年３月31日　［場所］神奈川県内　［従業員人員］30人
［対象者］　当法人の事業活動に関連のある医療機関および公的機関
【⑧事業合計支出額】135,640円

関係医療機関からの依頼に対して翻訳を行った。

依頼元	翻訳内容
・横浜市立大学附属市民総合医療センター（市大センター病院）	入院患者に向けてマスク着用をお願いするポスター スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語

⑨ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

［日時］2020年４月１日～2021年３月31日　［場所］MICかながわ事務局および県外
［従業員人員］40人　［対象者］　法人の事業活動に関心のある団体および個人
【⑨事業合計支出額】345,808円

＜内容１＞　活動の目的に沿った事業

ア．広報

（ア）ニュースレターを２回発行し、ホームページ上で公開した。
2020年度の発行は、６月末、12月末であった。

（イ）twitterやFacebookを活用し、広報の拡大に努めた。

イ．その他

（ア）各種イベントへの参加
MIC かながわの会員活動である手芸部が中心となってイベントに参加し、バザーでの売上げ収益をMICかながわに寄付した。

12月13日（日）　カトリック藤沢教会ミニバザー　団体活動紹介、物品販売

（イ）冊子の販売
「日本語−ベトナム語　医療・介護に関する用語集」簡易製本版を医療通訳スタッフ等関係者に頒布した。（1,000円×３冊）

（ウ）その他

・キャピタル・グループからの寄付金を元に、2018 年５月よりホームページに掲載（無料ダウンロード）されているタイ語、ベトナム語の『医療・介護に関する用語集』の 2020年度ダウンロード数は以下のとおりであった。
ベトナム語に関しては、前年度ダウンロード実績は 24件だったが、今年度は 242件に及んだ。

タイ語ダウンロード数　　19件（累計98件）
（内訳：個人９件、医療機関　４件、教育機関　３件、支援団体　２件、企業　１件　）

ベトナム語ダウンロード数　　242件（累計339件）
（内訳：個人 125件、企業 51件、医療機関・介護施設40件、教育機関 17件　その他）

・2020 年 10 月に、『日本語－中国語　在宅介護・看護用語集』『日本語－スペイン語　在宅介護・看護用語集』をホームページに掲載し、続いて 2021 年２月に『日本語－タガログ語　在宅介護・看護用語集』を掲載し、無料でダウンロードできるようにした。
ダウンロード数：中国語　35件　　スペイン語　32件　　タガログ語　０件

・よこはま夢ファンド登録団体助成金（20万円）を元に、『入院患者向け指差し対訳シート』を６言語（英語、タイ語、ベトナム語、カンボジア語、ネパール語、インドネシア語）で作成のうえ、神奈川県内協定医療機関に各２部ずつ送付した。また、あわせてホームページにも掲載し、無料でダウンロードできるようにした。

・英語通訳スタッフ、中国語通訳スタッフ、MIC かながわ手芸部、ノーモア南京の会より手作りマスク、不織布マスク、使い切り手袋等の寄付があった。

＜内容２＞　その他事業

ア．新型コロナウイルス感染症対策事業

（ア）新型コロナウイルス感染防止啓発動画作成

MIC かながわの有志により、日本語を母語としない住民のために『新型コロナウイルス感染防止啓発動画』を作成し、YouTube にアップロードして啓発に努めた。
ベトナム語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、英語、タイ語、カンボジア語、モンゴル語

（イ）ドクター・サワダのCOVID－19オンライン出前講座

外国人コミュニティーや在住外国人支援者に向けて新型コロナウイルス感染防止セミナーや勉強会を開催する団体に、沢田貴志氏によるオンライン講座を提供した。

12月21日（月）　横浜いのちの電話

(2) その他の事業

なし